

1 学年 美術科 ガイダンスシラバス

担当： 別府 世通

1. 美術学習のねらい

花を観て「美しい！」と言ったあなたの『心』が美しい。

美しいものに感動する自分の『心』を見つめ育て、豊かな心情を育てる教科です。感動したものを造形や色彩で表現し作品を制作します。そして完成した作品をお互いに鑑賞し作者の表現したい思いや自分と他人の表現の違いを理解することで、新たにお互いのよさを知ることができます。

2. 学習方法

作品は上手・下手ではありません。上手でもつまらない作品もあるし、下手だけれど心に残る作品があります。よい作品とは感動した心が表現できている作品のことをいいます。 作品を制作する中で大切なことは、感動したものをどのように表現するかが大切です。

①アイデアをスケッチする→②構想を練る→③下絵を描く→④材料を選ぶ→⑤制作する→⑥作品を完成→⑦作品を鑑賞する。このような制作過程を経て、作品が完成します。この一つ一つの制作過程を大切に毎時間の授業に集中して取り組みましょう。

3. 持ち物

教科書・「美術資料」・鉛筆・消しゴムは基本用具です。必ず用意をしてください。基本的には学校で用意しますが、課題により用具や材料が必要になりますので、必要な場合は授業でお知らせします。

4. 学習の評価の観点と方法（授業中に取り組んだ全てのもの・定期考査・宿題など）

- ① 知識・技能：対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。表現方法を創意工夫し、創造的に表している。
- ② 思考・判断・表現：造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
- ③ 主体的に学習に取り組む態度：美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。

[評価の基準] 各学期、学習目標についての結果を以下の基準で評価する

- 1. 観点別評価：評価材料に対して各観点の評価基準に照らし、その達成率を得点化し達成率を出す。
達成率80%以上 → A 達成率50%以上 → B 達成率50%未満 → C
- 2. 各学期および各学年の評定：観点別評価の合計を出しその最高得点の達成率により到達度を出す。
到達度90%以上→5, 80%以上→4, 50%以上→3, 20%以上→2, 20%未満→1

5. 先生からのアドバイス

中学3年間は第2の誕生という人がいるくらい、心も身体も成長する時期です。少年から青年へとただ保護され育った子ども時代から、自立への第一歩を踏み出す一人前の大人への旅の始まりです。美術の授業を通して自分と向き合い、真によいもの美しいものを追求し、自分の作品を創り上げてください。

6. 年間学習計画

	月	単元・学習内容	学習の目標	評価方法
1 学期	4	オリエンテーション	・内容を理解し、意欲的に取り組む。	
		<レタリング>	・ポスターや商品から書体の良さや美しさ、伝えるための工夫を感じ取る。	
	5	・意図に応じて文字をデザインすることを理解し、基本的な書体を書ける。	・枠内にバランスよく基本的な書体の字画、点画を書ける。	ワークシート
		<色彩学習>	・色には感情やイメージがあることを感じ取り、話し合いを通して理解を深める。	ワークシート
	6		・色彩の基礎的な知識を理解する。	授業観察
			・構成によるイメージや美しさを感じ取り、意図したイメージを表現できる。	ワークシート
		期末考査「レタリング」 <デザイン>「絵文字」	・画材や用具を正しく安全に使うことができる。	期末考査
2 学期	7	<鑑賞>「美術館へ行こう」	・美術館の役割を理解して利用する意欲をもつ	ワークシート
	9		・文字と絵の組み合わせや色の効果を考えて構成を工夫し、発想豊かに表現する。	アイデアスケッチ 作品
		中間考査「色彩学習」		中間考査
	10	<鑑賞>「絵から物語をつむぐ」	・二つの作品の良さ、作者の意図や工夫を感じ取る。	ワークシート
		<絵画>「描いてみよう」	・鉛筆の使い方を工夫してタッチや明暗で立体感や明暗を表現できる。	作品
		・対象をよく観察し特徴や質感をとらえて描く	・身近なものへの親近感や美しさを感じ取り、素描で表現しようと取り組む。	授業観察
3 学期	11	<鑑賞>「版で表す美しさ」	・版の表現の特徴とそのよさや美しさを感じ取り、制作への意欲をもつ	ワークシート
		<工芸>「お気に入りの場所」	・表現技法を理解し、アイデアスケッチを重ねて発想を広げる。	
	12			アイデアスケッチ
			・制作工程を理解し木版画の良さを味わって取り組む	
3 学期	1		・彫刻刀の特徴をいかし、表現に合わせて正しく安全に使う。	授業観察
			・色彩の組み合わせなど考え、意図を表現するための工夫がある。	作品
	2	<学年末考査> 「版画について、美術館の役割」		学年末考査
3 学期	3			

第2学年 美術科 ガイダンスシラバス

担当: 西川 肇一

1. 美術学習のねらい

2年テーマ「美しさ・生活につながる美術」

感動する『心』を見つめ、感動したものを造形や色彩で表現することを深めていきます。また、日常生活に目を向け、生活の中で身近にある美術を大切に取り組んでいきます。東西の芸術についての知識と教養を身に付け、作品制作に生かします。

2. 学習方法

作品は上手・下手ではありません。よい作品とは感動した心が表現できている作品のことをいいます。作品を制作する中で大切なことは、初めて直面する素材や表現法に前向きに気持ちを込めてどのように表現するかが大切です。

①アイデアをスケッチする→②構想を練る→③下絵を描く→④材料を選ぶ→⑤制作する
→⑥作品を完成→⑦作品を鑑賞する

この一つ一つの制作過程を大切にして毎時間の授業を大切に集中して取り組みましょう。

3. 持ち物

教科書・「美術資料」・鉛筆・消しゴム、またプリントやワークシートをまとめるファイルは基本用具です。授業の時に必ず用意してください。基本的な用具・材料は学校で用意しますが、課題により必要な場合は授業でお知らせします。

4. 学習の評価の観点と方法（授業中に取り組んだ全てのもの・定期考査・宿題など）

①知識・技能：

対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。

表現方法を創意工夫し、創造的に表している。

②思考・判断・表現：

造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。

③主体的に学習に取り組む態度：

美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。

〔評価の基準〕 各学期、学習目標についての結果を以下の基準で評価する

- | | | |
|---|--------------|--------------|
| 1. 観点別評価～ 評価材料に対して各観点の評価基準に照らし、その達成率を得点化し達成率を出す | | |
| 達成率80%以上 → A | 達成率50%以上 → B | 達成率50%未満 → C |
| 2. 各学期及び学年末の評定～ 上記観点別評価の達成率の合計を出し、到達度とする | | |
| 到達度90%以上 → 5 | 到達度80%以上 → 4 | 到達度50%以上 → 3 |
| 到達度20%以上 → 2 | 到達度20%未満 → 1 | |

5. 先生からのアドバイス

今年取り組む美術課題をとおして、美術が社会や生活の中で役立ち・さまざまな場面で使われていることに気づいてほしいです。社会の一員として成長するためにも美術に目を向け、美しいものに感動し、自分のこととして考え、創り上げたものへの尊さに気づき、見つめることは大変大切なことです。

6. 年間学習計画

	月	単元名 学習内容	学習の目標	評価方法
1 学 期	4	美術について ★ (1時間)	・美術の目的や社会的な役割を理解し、意欲的に取り組めるようにする	授業観察 学習シート アイデアシート ワークシート 提出作品 自己評価カード 定期考査
		【色の学習】 色彩調節、色の対比 (2時間)	・日常生活や社会でどのように利用されているかを考え分類判断をする ・社会生活で使われる色の場面と意義から色の効果や美しさを感じ取り見方を深める	
	5	【構成とデザイン】 連続模様のデザイン ★ (9時間)	・形や色、材料などが感情にもたらす効果や造形的な特徴などをもとに、美術作品を全体のイメージでとらえることを理解する	
	6		・線や色などの構成がもたらす効果や造形的な特徴をもとに構想を練る	
	7		・美術の創造的な活動の喜びを味わい、主体的に形や色のアイデアを練り、工夫して作品を表す表現の学習活動に取り組む	
2 学 期		【鑑賞】 超現実の世界 ★ (1時間)	・シュルレアリスムの芸術と芸術家について学び、その特質について理解する	授業観察 学習シート ワークシート 提出作品1 提出作品2 自己評価カード 定期考査
	9	【平面・絵画】 フォトコラージュ ★ (3時間)	・既成の写真に目を向け、配置と組み合わせから超現実の世界の効果を全体のイメージとしてとらえ、工夫して創作を進める	
	10		・材料の効果、版の特性の生かしながら見通しを持ち、創作を進める	
	11	ドライポイント版画 (7時間)	・凹版画表現のプロセスをとおり良さや美しさを感じ取り、考えたり工夫して美意識を深める	
	12	【立体・工芸】 篆刻・印面 ★ (4時間)	・印の歴史と社会性を理解する。 ・わかりやすい、創造的なデザインを表す ・方法と用具の使い方を理解し仕上げる	
3 学 期	1	【立体・工芸】 篆刻・持ち手 (8時間)	・立体の意識を持ち、持ちやすく創造的なデザインを表す	授業観察 ワークシート 提出作品 自己評価カード 定期考査
	2		・発想から完成に至るまで計画的に制作する。	
	3		・方法と用具の使い方を理解し仕上げる	
合 計 35時間			★ ICT 活用をする単元	

3 学年 美術科 ガイダンスシラバス

担当： 別府 世通

1. 美術学習のねらい

3 年テーマ「**自己表現**」～過去・現在・未来の自分を見つめる

中学3年生は、最も自己を見つめ、自分について考える学年です。『自分』っていったい何者だろう??
どんな生き方をしていくのか? 作品を描いたり、創ったりすることを通して、自分と向き合い、自分の思いや内面的世界を表現していきます。鑑賞の授業では、日本の良さや美しさを発見し、日本文化や文化遺産を継承することを学びます。また、完成した作品をお互いに鑑賞することで作者の表現したい思いや自分と他人の表現の違いを見つけていきます。

2. 学習方法

作品は上手・下手ではありません。上手でもつまらない作品もあるし、下手だけれど心に残る作品があります。よい作品とは感動した心が表現できている作品のことをいいます。 作品を制作する中で大切なことは、学習するテーマにそって、いかに表現するかが大切です。

①アイデアをスケッチする→②構想を練る→③下絵を描く→④材料を選ぶ→⑤制作する→⑥作品を完成→⑦作品を鑑賞する。このような制作過程を経て、作品が完成します。この一つ一つの制作過程を大切にして毎時間の授業を大切に集中して取り組みましょう。

3. 持ち物

教科書・「美術資料」・鉛筆・消しゴムは基本用具です。必ず用意をしてください。基本的には学校で用意しますが、課題により用具や材料が必要になりますので、必要な場合は授業でお知らせします。

4. 学習の評価の観点と方法（授業中に取り組んだ全てのもの・定期考査・宿題など）

- ① 知識・技能： 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。
表現方法を創意工夫し、創造的に表している。
- ② 思考・判断・表現： 造形的な良さや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて
考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や
美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
- ③ 主体的に学習に取り組む態度： 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の
幅広い学習活動に取り組もうとしている。

5. 先生からのアドバイス

中学3年間は第2の誕生という人がいるくらい、心も身体も成長する時期です。少年から青年へとただ保護され育った子ども時代から、自立への第一歩を踏み出す一人前の大人への旅の始まりです。作品を制作することで自分と向き合い、真によいもの美しいものを追求し、自己を変化させ、自分を表現していこう！

6. 年間学習計画

月	単元・学習目標	評価基準	評価方法
1 学期	4 オリエンテーション ＜鑑賞＞「仏像の魅力、日本の文化遺産」	・内容を理解し、意欲的に取り組む。 ・仏像の造形的な特徴や美しさを話し合い、鑑賞活動に取り組む。	ワークシート
	5 ・仏像の種類や造形の特徴についての知識から造形表現の意図や工夫について理解を深める。 ＜仏像画＞	・仏像の造形的な特徴や表現の意図、工夫を感じ取ってスケッチする。 ・用具を効果的に使い、仏像の特徴や明暗の調子の美しさを感じ取って描写する。 ・仏像の美しさを感じ取りながら意欲的に取り組む。	授業観察 作品
	6 ＜期末考査＞「日本の文化遺産、仏教美術」		期末考査
	7 ＜デザイン＞「ステンドグラスの魅力」 ・建築的なデザインの歴史や働きを学習し制作を通して生活にいかす	・形や色、材料、光など感情にもたらす効果や建築物の造形的な特徴をもとにデザインの役割を理解する。	アイデアスケッチ
2 学期	9 ＜鑑賞＞「日本絵画の鑑賞法」 ・日本美術の文化、歴史を学習し美術的価値を理解する。 中間考査「日本絵画の鑑賞法」	・伝統的な生活様式との関係に気が付き機能と美しさを感じようとする。 ・色や形のはたらきを考え、主題をイメージし構想する	ワークシート 中間考査
	10	・材料の特性をいかして意図したイメージを表す工夫をしている。	作品 授業観察
	11 ＜工芸＞「篆刻の持ち手彫刻」 ・篆刻の歴史と技法を学習し、豊かな発想をもとに持ち手を制作する	・石の特性を理解し、技法をいかして発想を広げ構想を練る。	アイデアスケッチ
	12	・制作の手順を理解し、正しく安全に用具を使う	授業観察
3 学期	1		授業観察
	2 ＜学年末考査＞ 「レタリング～今の想いを漢字一字で表す」	・意図を表現する工夫があり、全体のバランスを考えて仕上げているか。	作品 学年末考査
	3		